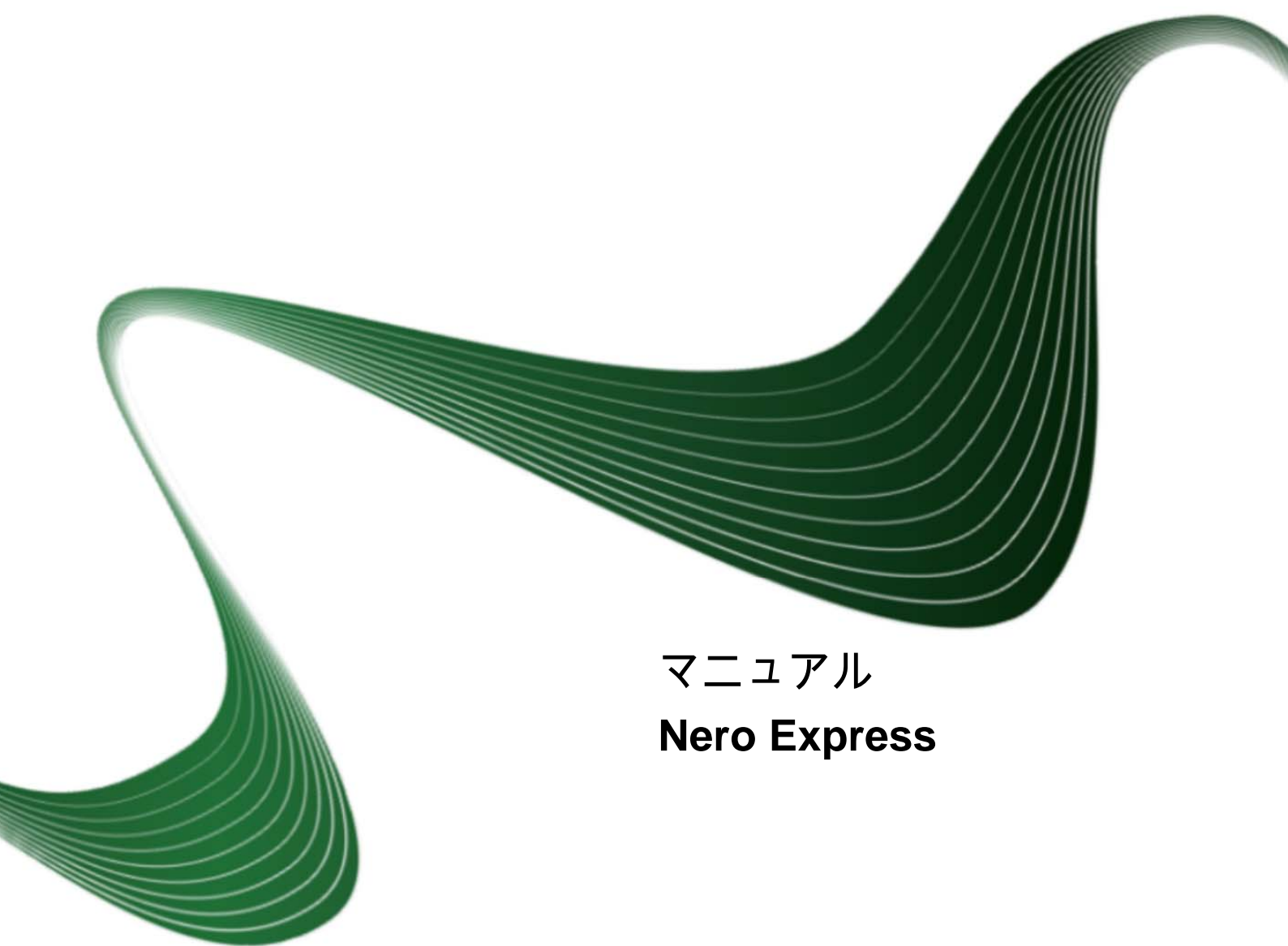


nero

BackItUp & Burn



マニュアル

Nero Express

著作権および商標情報

ここに記載されるソフトウェアと同様に、本マニュアルはライセンスの一部として提供され、使用許諾書に従ってのみ使用または複製することが許されます。同梱のソフトウェアおよび本マニュアルの内容は、事前の通知なしに変更される場合があります。Nero AG 社は、本マニュアルの正確さに関していかなる責務も負わないものとし、保証の範囲を超える一切の請求を拒否します。本マニュアルとその内容のすべては、著作権によって保護されており、著作権は Nero AG 社に著作権に帰属します。無断転載を禁止します。また、このマニュアルの内容は、国際著作権条約により保護されています。Nero AG 社の書面による明確な許可なしに、本マニュアルの一部または全部の複製、配布、複写を禁止します。

プロジェクトに挿入または複写しようとしている既存のグラフィクス、画像、ビデオ、音楽タイトルやその他の素材は、著作権によって保護されている場合があります。これらの素材を許可なく使用することは、その素材について著作権が帰属する所有者の権限を侵害する可能性があります。著作権の所有者から必要なすべてについて使用許諾を取得する必要があります。

自分が著作権を所有している場合や、著作権の所有者から使用許諾されている場合、あるいは行為が著作権法の「公正使用」の条項に従うものである場合以外の使用については、著作権法または国際著作権条約に違反している可能性があります。著作権によって保護されている素材の転写、複製、改良、出版は損害に対する賠償請求、またはその他の法的措置が適用される場合があります。自分の権限が明確でない場合、法律の専門家にご相談ください。

Copyright 2006 - 2009 Nero AG and its licensors. 無断転載を禁止します

Nero, Nero Digital, Nero BackItUp, Nero Essentials, Nero Express, Nero ImageDrive, Nero LiquidTV, Nero MediaHome, Nero Recode, Nero RescueAgent, Nero ShowTime, Nero Simply Enjoy, Nero StartSmart, Nero Vision, InCD, Move it, PhotoSnap, SecurDisc ロゴ, Burn-At-Once, DNC Dynamic Noise Control, LayerMagic, Nero DMA Manager, SmartDetect, SmoothPlay, Superresolution, Nero Surround, Nero LiquidMedia, Nero MediaStreaming および UltraBuffer は、Nero AG 社の商標 または登録商標です。

Adobe, Acrobat, Acrobat Reader, および Premiere は、Adobe Systems 社の商標または登録商標です。AMD Athlon, AMD Opteron, AMD Sempron, AMD Turion, ATI Catalyst, および ATI Radeon は Advanced Micro Devices 社の商標または登録商標です。ATSC は Advanced Television Committee の商標です。ICQ は、Advanced Television Committee

の商標です。Apple, iPhoto, iPod, iTunes, iPhone, FireWire, および Mac は Apple 社の商標または登録商標名です。ARM は ARM, Ltd 社の登録商標です。AudibleReady は Audible, Inc 社の登録商標です。BenQ は BenQ 社の商標です。Blu-ray Disc は、Blu-ray Disc Association の商標です。CyberLink は CyberLink 社の登録商標です。DLNA は、Digital Living Network Alliance の登録商標です。DivX および DivX Certified は DivX 社の登録商標です。Dolby, Pro Logic, およびダブル D 記号はドルビラボトリーズ社の商標または登録商標です。DTS および DTS Digital Surround は DTS 社の登録商標です。DVB は DVB Project の登録商標です。Freescale は Freescale Semiconductor, Inc. 社の商標です。Google および YouTube は Google, Inc. 社の商標です。WinTV は Hauppauge Computer Works, Inc. 社の登録商標です。Intel, Intel XScale, Pentium および Core は Intel 社の商標または登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。Memorex は Memorex Products, Inc. 社の登録商標です。ActiveX, ActiveSync, DirectX, DirectShow, Internet Explorer, Microsoft, HDI, MSN, Outlook, Windows, Windows Mobile, Windows NT, Windows Server, Windows Vista, Windows Media, Xbox, Xbox 360, Windows Vista のスタートボタン、および Windows のロゴは、Microsoft 社の商標または登録商標です。My Space は MySpace 社の商標です。NVIDIA, GeForce, および ForceWare は NVIDIA 社の商標および登録商標です。Nokia は Nokia 社の登録商標です。CompactFlash は、SanDisk 社の登録商標です。Sony、メモリースティック、PlayStation、PLAYSTATION および PSP は Sony 社の商標または登録商標です。HDV は、Sony 社および JVC (Victor Company of Japan) 社の商標です。UPnP は、UPnP Implementers 社の登録商標です。Labelflash は、ヤマハ社の登録商標です。

ここに記載されている商標は情報提供のみを目的としています。すべての商標名、商標はそれぞれの所有者に帰属します。Nero AG Im Stoeckmaedle 13-15, D-76307 Karlsbad, Germany

目次

1	はじめに	5
1.1	このマニュアルについて	5
1.2	Nero Express について	5
1.3	Nero Express を使用する	6
2	プログラムを起動する	7
3	開始画面	8
3.1	拡張エリア (開始画面)	9
4	編集画面	10
5	データ CD/DVD を編集する	11
5.1	SecurDisc 設定を有効にする	12
6	オーディオ CD を編集する	17
6.1	オーディオファイルのプロパティをカスタマイズする	18
6.1.1	〔トラックプロパティ〕タブ	18
6.1.2	〔インデックス、リミット、分割〕タブ	19
6.1.3	〔フィルタ〕タブ	21
7	DVD ビデオを編集する	23
8	ディスクイメージまたは保存したプロジェクトを読み込む	25
9	編集内容を書き込む	26
9.1	バーナーの選択	26
9.2	書き込み処理の開始方法	26
9.3	〔最終書き込み設定〕画面	27
9.3.1	拡張エリア (書き込み設定)	29
9.4	イメージファイルの作成	30
10	CD/DVD をコピーする	32
10.1	コピー方法	32
10.1.1	オンザフライコピー	32





10.1.2	イメージ経由コピー	33
10.2	CD/DVD をコピーする	33
10.3	コピー設定	35
11	〔書き換え可能なディスクの消去〕ウィンドウ	37
12	データトラックを保存する	39
13	最終画面	41
14	設定オプション	42
14.1	編集設定	43
14.2	キャッシュの設定	44
14.3	高度機能	44
15	技術的な情報	46
15.1	システム要件	46
15.2	対応形式	46
15.2.1	ディスク種別	46
15.2.2	ディスク形式	46
16	用語集	47
17	索引	51
18	お問い合わせ	53

1 はじめに

1.1 このマニュアルについて

このマニュアルは、Nero Express での作業方法を知りたいと思う、すべてのユーザーに向けた構成になっています。内容はプロセスベースになっており、特定の目的を達成する方法を、手順ごとに説明してあります。

このマニュアルを効果的に活用するために、以下の表記ルールに注意してください。

	必ず守っていただきたい、警告、前提条件、または指示を示します。
	補足的な情報や、注意メッセージを示します。
1. 最初に、...	行頭の番号は、必要な操作を示します。 番号順に、操作を実行してください。
	途中結果を示します。
	結果を示します。
OK	プログラムインターフェースに表示される、テキストの一部またはボタンを示します。これらは、太字で表記されます。
「」を参照してください。	他章への参照を示します。 リンクと同様に動作し、下線付きの赤色文字で表記されます。
[...]	コマンドを入力するための、キーボードショートカットを表します。

1.2 Nero Express について

初心者あるいは熟練者のどちらでも、Nero Express はあなたが行おうとしている書き込み作業をすばやく簡単にガイドします。標準の設定は最良の結果が生み出されるよう自動設定で選択されています。Nero Express の使用方法はとても簡単です。

ユーザーの作業は、書き込むプロジェクトを選択してファイルを追加し、書き込みを開始するだけです。

1.3 Nero Express を使用する

基本的に、Nero Express のユーザーインターフェースでは開始画面から編集手順を選択します。各手順では、別々のウィンドウが表示されます。通常は、4 つの手順が必要になります。

編集タイプを選択する

メニュー項目の上にマウスポインタを移動して実行するタスクを選択し、表示されたタスクのいずれかをクリックします。このマニュアルでは、タスクごとに章を分けて、各タスクの開始から完了までの手順すべてを説明しています。

タスクを完了する

タスクによって、完了までに様々な手順を実行する必要があります。各手順は、新しい画面で構成されています。このマニュアルでは、画面ごとに章を分けて、すべてのエリアを詳しく説明しています。

編集内容の書き込み


書き込みむと終わりがマークされます。書き込みには、書き込みパラメータを指定して、[書き込み] ボタンを押します。作業を行っているタスクのタイプや、システムに接続されているドライブの種類によって、異なるエントリを数多く選択できます。

書き込み後のオプション

書き込みが終了したら、次の作業として引き続き Nero Express で作業するのか、プログラムを終了するのかのオプションを選択できます。

2 プログラムを起動する

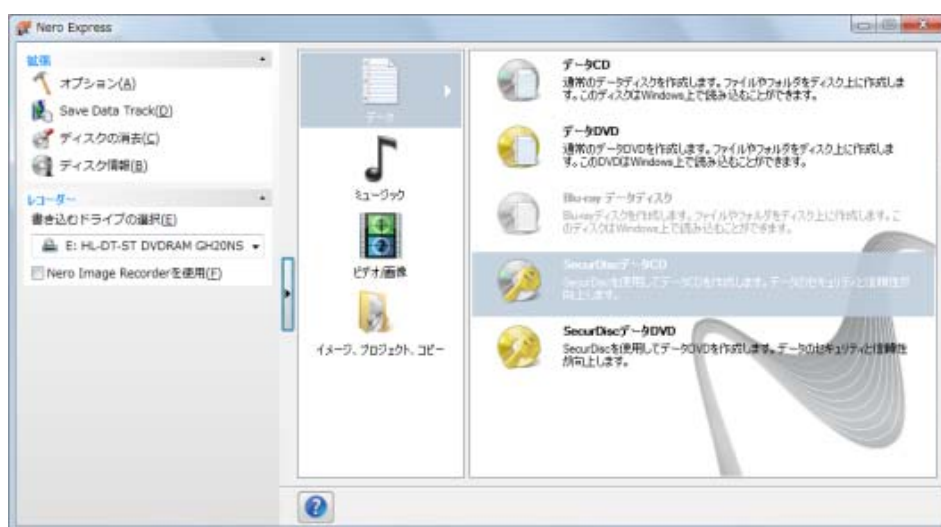
Nero Express を起動するには、次の手順を実行します。

1. [**Nero BackItUp**] アイコンをクリックします。
→ [Nero BackItUp] ウィンドウが開きます。
2.  ボタンをクリックします。
3. [Nero Express] ウィンドウが開きます。
→ Nero Express が起動しました。

3 開始画面

Nero Express のすべての操作は、メイン画面から始めます。この画面で、作業の目的と一致するメニューアイコンをクリックすると、プロジェクトの編集や各種作業を実行できるウィンドウに移動します。

左側のウィンドウ枠にある ◀ ボタンをクリックして、追加のオプションと機能に関する拡張エリアを表示します。




次の編集方法が使用できます。

データ	すべてのタイプのファイルやフォルダを編集したり、書き込むことができます。
ミュージック	すべての CD プレイヤーで再生可能な標準的オーディオ CD を作成します。
ビデオ/画像	ビデオファイルからビデオ DVD を作成します。
イメージ、プロジェクト、コピー	元のディスクをコピーしたり、イメージファイルや既存のプロジェクトをロードしたりできます。



実際に使用できる項目および実際に書き込めるディスクタイプ (DVD など) は、使用しているレコーダーによって異なります





3.1 拡張エリア (開始画面)

開始画面の拡張エリア内にある、追加のオプションや拡張機能を表示するには、左側のウィンドウ枠にある  ボタンをクリックします。拡張エリアは、Nero Express のすべての画面で使用できます。

使用できるメニューアイコンは、次のとおりです。

現在のプロジェクトを保存	[別名で保存...] ウィンドウを開いて、編集内容を保存します。書き込むファイルリンクと設定が保存されます。
オプション	[オプション] ウィンドウを開いて、Nero Express を用途に合わせてカスタマイズします。
データトラックの保存	[トラックの選択] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、データディスクのトラックをイメージファイルとして保存できます。
ディスクの消去	[書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウを開いて、書き換え型の CD や DVD からデータを消去します。
ディスク情報	[ディスク情報] ウィンドウを開いて、挿入されている CD や DVD の情報を表示します。トラックやセッションの情報に加えて、全容量と使用可能な空き容量も表示されます。
レコーダー	書き込みに使用するレコーダーや、Nero イメージレコーダを指定します。

以下も合わせてご覧ください:

-  設定オプション → 42
-  データトラックを保存する → 39
-  [書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウ → 37
-  バーナーの選択 → 26

4 編集画面

開始画面から、目的の編集方法を選択すると、Nero Express の編集画面が表示されます。編集画面では、プロジェクトにデータを追加できます。また、ディスクのディレクトリ構造を、目的に合わせてカスタマイズできます。ウィンドウの下部近くにある [容量情報メーター] には、ディスク上に追加したデータが使用する容量が示されます。編集画面はどれも、基本的に同じ構造になっています。

編集画面では、次の設定オプションが使用できます。

ボタン 追加	[ファイルとフォルダの追加] ウィンドウを開きます。
ボタン 削除	選択したファイルを削除します。
ボタン 再生	選択したファイルを再生します。
ボタン プロパティ	[オーディオトラックプロパティ] ウィンドウが開きます。 このオプションを使用できるのは、オーディオ CD のみです。
チェックボックス すべてのオーディオ ファイルを平均化	複数のオーディオファイルの音量を一定の音量にして書き込むフィルタを有効にします。これは、各ファイルの録音元が異なる場合に便利です。 このオプションを使用できるのは、オーディオ CD のみです。
チェックボックス 曲間に無音部分を作 成しない	オーディオファイルと次のオーディオファイルの間に無音部分を入れないでマージします。このチェックボックスをクリアすると、オーディオファイルの間に 2 秒の無音部分が入ります。 このオプションを使用できるのは、オーディオ CD のみです。

5 データ CD/DVD を編集する

Nero Express を使用すると、あらゆるタイプのファイルやフォルダを編集して、書き込むことができます。DVD レコーダーを装備したコンピュータの場合は、データ CD とデータ DVD の両方を書き込むことができます。CD レコーダーを装備している場合は、DVD の書き込みに使用するオプションが開始画面で灰色の淡色表示になり、データ CD のみ書き込むことができます。どちらの編集方法も、手順は同じです。



Blu-Ray レコーダー

Blu-ray レコーダーを装備したコンピュータで、そのドライブを選択すると、適切な項目を表示して Blu-ray ディスクを書き込むことができます。Blu-ray データディスクの編集手順および書き込み手順は、データ CD や DVD の編集方法と同じです。

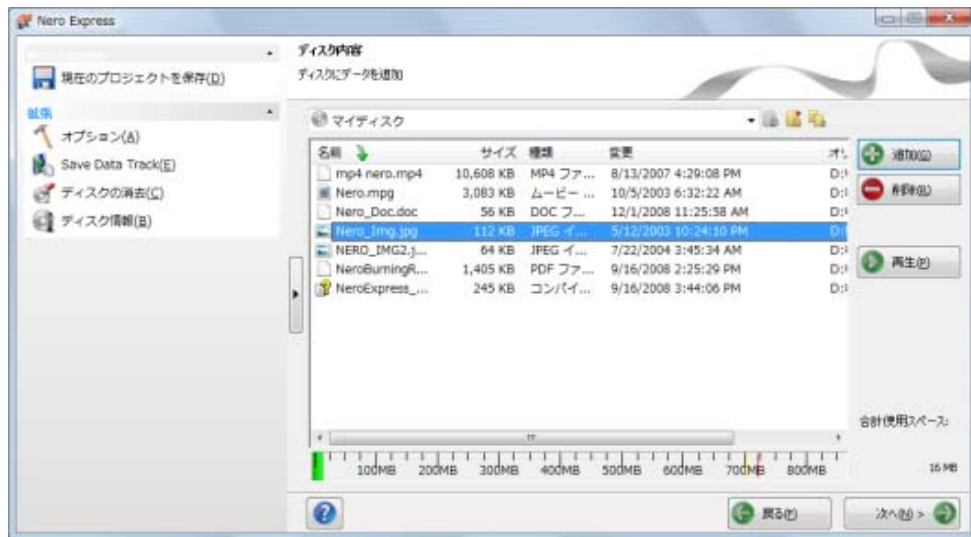


SecurDisc レコーダー

SecurDisc レコーダーを装備したコンピュータで、そのドライブを選択すると、適切な項目を表示して SecurDisc CD または DVD を書き込むことができます。SecurDisc データ CD または DVD にデータを追加して書き込む手順は、通常のデータ CD または DVD の編集手順と同じです。

データ CD や DVD を作成するには、次の手順を実行します。

1. Nero Express の開始画面で [**データ**] メニューアイコンをクリックします。
→ [**データ CD**] および [**データ DVD**] オプションが表示されます。
2. 使用するオプションをクリックします。
→ データ CD またはデータ DVD の [**ディスク内容**] 編集画面が表示されます。



[ディスク内容] 編集画面

3. [追加] ボタンをクリックします。
→ [ファイルとフォルダの追加] ウィンドウが開きます。
4. 編集に追加するファイルを選択し、[追加] ボタンをクリックします。
5. 追加するすべてのファイルに対して、前の手順を繰り返します。
6. [閉じる] ボタンをクリックします。
→ 編集するファイルが追加され、編集画面に表示されます。
7. [次へ] ボタンをクリックします。
→ 以上で、データ CD または DVD
の編集は完了です。この時点で、ここまでの編集内容を書き込むことができます。

以下も合わせてご覧下さい:

📖 編集内容を書き込む → 26

5.1 SecurDisc 設定を有効にする

SecurDisc は、データ整合性、再構築性、暗号化、複製プロテクションなど特殊な保護機能を備えたディスクを作成するための、ハードウェアとソフトウェアのテクノロジーです。そのようなディスクは、Nero Express 対応ドライブを使用して作成でき、作成したディスクは InCD または InCD Reader を使用することでどのドライブでも読み込むことができます。

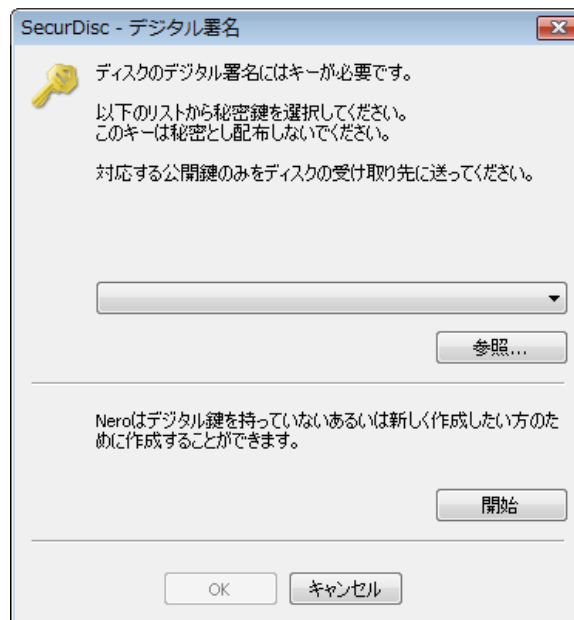


コピープロテクション機能は、SecurDisc データ DVD でのみ使用できます。


コピープロテクトされたファイルの内容を表示できるようにするには、
www.securdisc.net から無料でダウンロード可能な SecurDisc Viewer と呼ばれる特殊なアプリケーションが必要となります。

SecurDiscCD/DVD に記録したデータをパスワードで不正アクセスから保護する、複製防止を使用して PDF ファイルを保護する、パスワードを入力して複製防止を削除する、デジタル署名でディスクに署名する、またはデータ冗長性を制限するには、次の手順を実行します。

1. 編集画面の拡張エリアで、[**パスワードでデータを保護**] チェックボックスを選択します。
→ 保護されたデータのすべてに、鍵のアイコンが表示されます。
2. 保護機能を、ファイルごとに無効または選択して有効にするには、次の手順を実行します。
 1. 目的のファイルを強調表示にして、[**保護解除/保護**] ボタンを表示させます。
 2. [**保護解除/保護**] ボタンをクリックして、保護を有効または無効にします。
→ 選択したファイルに対して、保護機能が有効または無効になります。
3. 編集画面の拡張エリアで、[**デジタル署名**] チェックボックスを選択します。
→ [**SecurDisc – デジタル署名**] ダイアログボックスが表示されます。



[SecurDisc - デジタル署名] ウィンドウ

4. 作成済みのデジタルキーがある場合は、次の手順を実行します。
 1. [参照] ボタンをクリックします。
 - [SecurDisc – 非公開キーの選択] ダイアログボックスが表示されます。
 2. キーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
 5. デジタルキーを作成するには、次の手順を実行します。
 1. [開始] ボタンをクリックします。
 - [SecurDisc – デジタルキーの作成] ダイアログボックスが表示されます。
 2. 表示された指示を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。
 - [SecurDisc キーの作成処理] ダイアログボックスが表示されます。
 3. キーの作成処理が完了するまで、マウスを適当に動かし続けます。
 - [進行状況] バーで作成の進行状況を監視でき、作成が完了したらすぐに [次へ] ボタンが有効になります。
 4. [次へ] ボタンをクリックします。
 - [SecurDisc – キー作成完了] ダイアログボックスが表示されます。
 5. 作成したキーのファイル名を入力し、[完了] ボタンをクリックします。
 - [SecurDisc – デジタル署名] ダイアログボックスが表示され、選択したキーがドロップダウンメニューに表示されます。
 6. [OK] ボタンをクリックします。
 - 選択されたキーでディスクがデジタル署名されることを通知する、ダイアログボックスが開きます。
-  適切な公開キーを受け取り側に渡すと、受け取り側で署名を検証できます。
7. [OK] ボタンをクリックします。
 8. 編集画面の拡張エリアで、[コピープロテクト] チェックボックスを選択します。
 - 全 PDF ファイルがコピープロテクトされます。[パスワードでコピープロテクト解除] チェックボックスが表示されます。
 9. パスワードの入力後、コピープロテクトされたデータの複製を許可するには、次の手順を実行します。
 1. [パスワードでコピープロテクト解除] チェックボックスを選択します。
 - [SecurDisc - パスワードによる複製許可] ダイアログボックスが開きます。

2. [パスワード] 入力エリアにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。
10. データ冗長性を制限することで書き込み速度を早める (データ冗長性を設定する) には、次の手順を実行します。

1. [要求されるデータ信頼性] チェックボックスを選択します。
→ ドロップダウンメニューが有効になります。
2. 適切な信頼性レベルを選択します。



[要求されるデータ信頼性] チェックボックスがクリアされている場合は、選択したデータとチェックサムのコピーがすべてディスクに書き込まれます。編集画面の表示パネルには、現在の信頼性レベルが表示されます。

11. [次へ] ボタンをクリックします。

→ [SecurDisc - データの保護] ダイアログボックスが表示されます。

[SecurDisc - データ保護] ウィンドウ

12. [パスワード] 入力エリアにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



必要に応じて、パスワードの入力と選択の際、追加の [ヒント] ダイアログボックスにアドバイスが表示されます。このウィザードは、パスワード入力中の品質などのセキュリティレベルを表示します。

- ➔ 以上で、目的に対応する SecurDisc 設定が有効になり、CD や DVD を書き込める状態になりました。

6 オーディオ CD を編集する

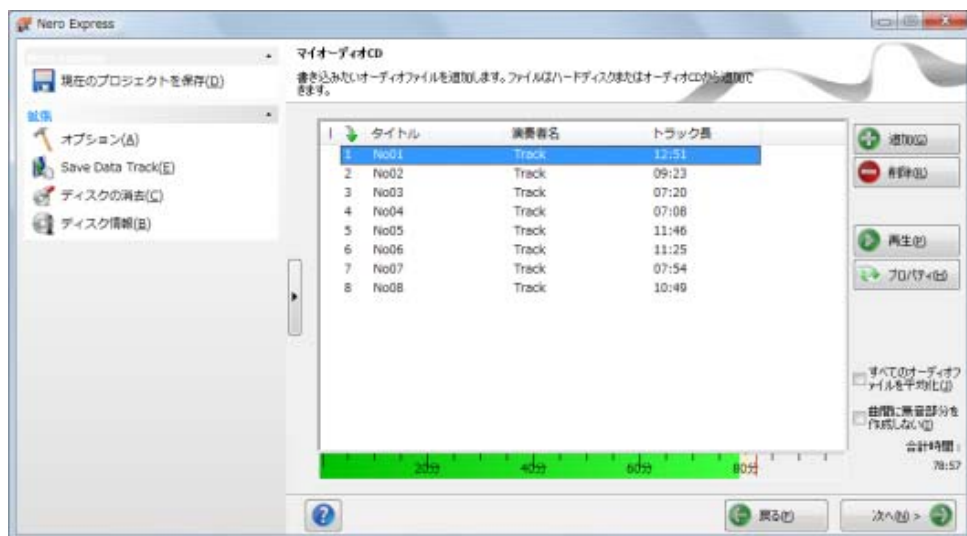
Nero Express を使用して、音楽ファイルを収録したオーディオ CD を作成できます。作成した CD は、標準的なすべての CD プレーヤーで再生できます。オーディオ CD を編集するために、各種オーディオ形式のソースファイル (MP3 など) は、書き込み前に自動的にオーディオ CD 形式に変換されます。



一部の CD プレーヤーでは、CD-RW ディスクを再生できないことがあります。オーディオ CD を作成する場合は、CD-R ディスクを使用してください。

オーディオ CD を作成するには、次の手順を実行します。

1. Nero Express の開始画面にある [ミュージック] メニューアイコンをクリックします。
→ 音楽の編集方法が表示されます。
2. [オーディオ CD] をクリックします。
→ オーディオ CD の [マイオーディオ CD] の編集画面が表示されます。



[マイオーディオ CD] 編集画面

3. [追加] ボタンをクリックします。
→ [ファイルとフォルダの追加] ウィンドウが開きます。
4. 編集に追加するオーディオファイルを選択し、[追加] ボタンをクリックします
5. 追加するすべてのオーディオファイルに対して、前の手順を繰り返します。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。
→ 編集するオーディオファイルが追加され、編集画面に表示されます。
7. オーディオファイルのプロパティを、用途に合わせてカスタマイズします。
8. [すべてのオーディオファイルを平均化] と [曲間に無音部分を作成しない] チェックボックスを、必要に応じてオンにします。
9. [次へ] ボタンをクリックします。
→ 以上で、オーディオ CD
の編集は完了です。この時点で、ここまでの編集内容を書き込むことができます。

以下も合わせてご覧下さい:

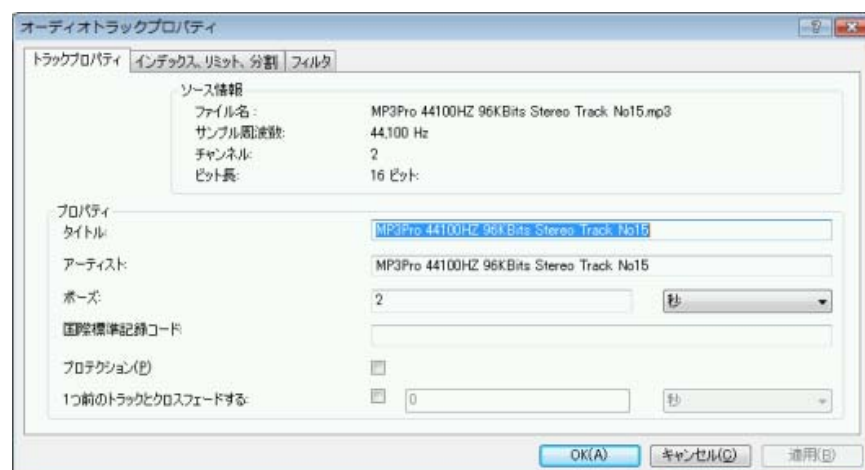
📖 編集内容を書き込む → 26

6.1 オーディオファイルのプロパティをカスタマイズする

オーディオファイルのプロパティは、[オーディオトラックプロパティ] ウィンドウの [トラックプロパティ] タブ、[インデックス、リミット、分割] タブ、および [フィルタ] タブで開いて変更できます。このウィンドウを開くには、オーディオ CD 用の [マイオーディオ CD] 編集画面でオーディオファイルを選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。

6.1.1 [トラックプロパティ] タブ

[トラックプロパティ] タブでは、[ソース情報] エリアに表示されたファイルについて、基本的な情報を確認できます。



[トラックプロパティ] タブ

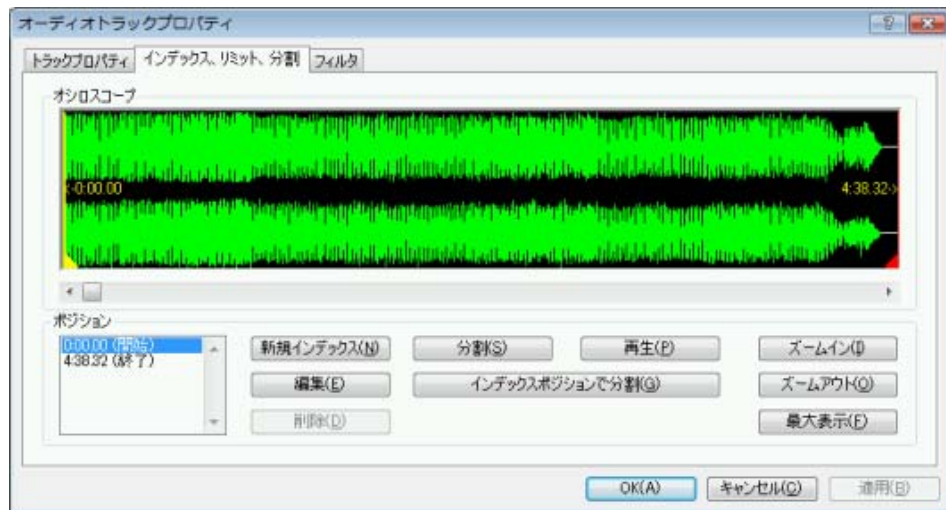
[プロパティ] エリアでは、次の入力エリアが使用できます。

入力フィールド タイトル (CD TEXT)	CD TEXT 形式で保存されるタイトルを指定します。 このテキストボックスに入力したタイトルは、CD TEXT 対応の CD プレーヤーに表示されます。
入力フィールド アーティスト (CD TEXT)	CD TEXT 形式で保存されるアーティスト名を指定します。 このテキストボックスに入力したアーティスト名は、CD TEXT 対応の CD プレーヤーに表示されます。
入力フィールド 一時停止	選択したオーディオファイルと、次のオーディオファイルの間に挿入するポーズの長さを、秒数またはフレーム数で指定します。
入力フィールド 国際標準記録コード (ISRC)	12 桁のデジタルコードを使用して、CD タイトルを識別します。 国際標準記録コード (ISRC) はサブコードに記録されます。 タイトルの ISRC が不明なときには、この入力フィールドは空のままにしてください。
チェックボックス コピープロテクト	コピープロテクションを有効にします。
チェックボックス 1 つ前のトラックとクロスフェードする	選択したオーディオファイルと、直前のオーディオファイル間のクロスフェードを指定します。クロスフェードの長さは、秒単位またはフレーム単位で指定できます。

6.1.2 [インデックス、リミット、分割] タブ

[インデックス、リミット、分割] タブでは、インデックスの設定や削除と、オーディオファイルを複数に分割した短いオーディオファイルの作成ができます。このタブは、[オシロスコープ] エリアと [ポジション] エリアで構成されています。

オーディオ CD を編集する



[インデックス、リミット、分割] タブ

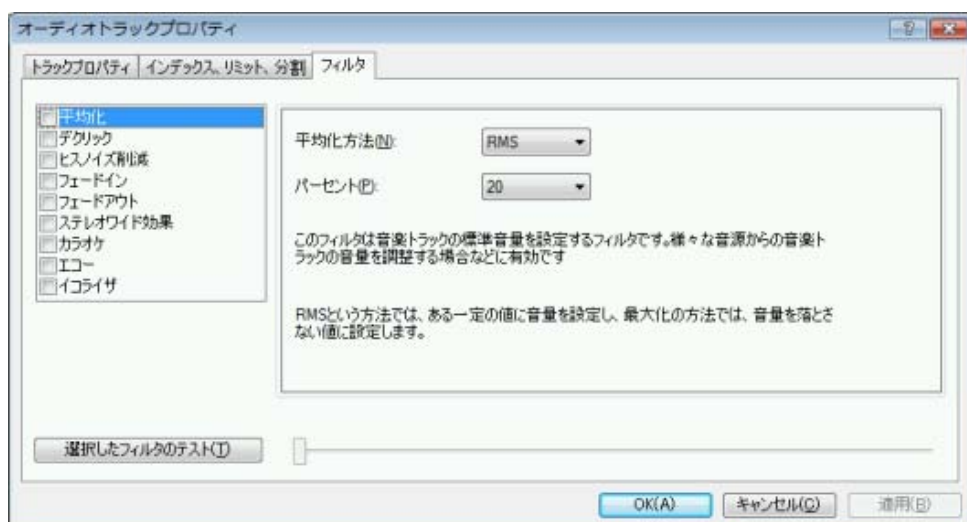
[オシロスコープ] エリアには、オーディオファイルがグラフィックで表示されます。[ポジション] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

選択リスト 開始/終了	CD 上のオーディオファイルの開始時点と、終了時点を示します。
ボタン 新規インデックス	選択したポジションに新しいインデックスを設定します。CD プレーヤーは、このポジションから新しい曲の再生を開始し、このポジションに直接ジャンプすることができます。ただし、この機能に対応していない CD プレーヤーもあります。
ボタン 編集	[トラックの最後を設定] ダイアログボックスを開きます。分割する位置を正確に入力できます。
ボタン 削除	選択したインデックスを削除します。
ボタン 分割	マークした位置でオーディオファイルを分割します。
ボタン 再生	マークした位置から、オーディオファイルを再生します。再生中は、[再生停止] ボタンが表示されます。

ボタン 再生停止	オーディオファイルの再生を停止します。 再生を停止すると、再び [再生] ボタンが表示されます。
ボタン インデックスポジ ションで分割	設定したインデックスポジションで、オーディオファイルを分割します。
ボタン ズームイン	オーディオファイルのグラフ表示を拡大します。
ボタン ズームアウト	オーディオファイルのグラフ表示を縮小します。
ボタン 最大表示	オーディオファイル全体のグラフを表示します。

6.1.3 [フィルタ] タブ

[フィルタ] タブには、音質を向上または変更するフィルタが含まれています。いわゆる非破壊的な手法、つまり実際の録音には変更を加えず、いつでもキャンセル可能なフラグだけを設定するという方法が用いられます。追加のオーディオデータが作成されることはありません。オーディオファイルは、書き込まれるまで実際の変更が加えられることはありません。



[オーディオトラックプロパティ] ウィンドウ、[フィルタ] タブ

[オーディオトラックプロパティ] ウィンドウでは、次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス 平均化	オーディオファイルの音量を、プリセットされた値に設定します。このフィルタは、様々な音源から取り込んだ各ファイルの音量を一定に調整するときに役立ちます。
チェックボックス デクリック	アナログレコードのノイズのような、カチカチ、カリカリというノイズを除去します。
チェックボックス ヒスノイズ削減	オーディオファイルのヒスノイズを削減、または除去します。特定のしきい値 (ヒスレベル) 以下の周波数は、すべて除去されます。
チェックボックス フェードイン	オーディオファイルの音量を、ゼロから一定の音量まで徐々に上げます。このフィルタは、ファイルを短くするときに役立ちます。
チェックボックス フェードアウト	オーディオファイルの音量を徐々に下げて無音にします。このフィルタは、ファイルを短くするときに役立ちます。
チェックボックス ステレオワイド効果	オーディオファイルのステレオ効果を加減します。このフィルタは、音源がステレオ録音されていない場合には機能しません。
チェックボックス カラオケ	オーディオファイルのボーカル部分の音声を小さくします。左右のステレオチャンネルに均等に振り分けられた部分 (ボーカル部分) を聞こえなくすることによって行われます。
チェックボックス エコー	オーディオファイルにエコー効果を加えます。
チェックボックス イコライザ	イコライザを開き、各周波数帯でボリューム、バス、およびピッチを変更できます。
ボタン 選択したフィルタの テスト	有効にしたフィルタを適用してオーディオファイルを再生します。再生中にフィルタの設定オプションを変更して、フィルタ効果を調整することができます。

7 DVD ビデオを編集する

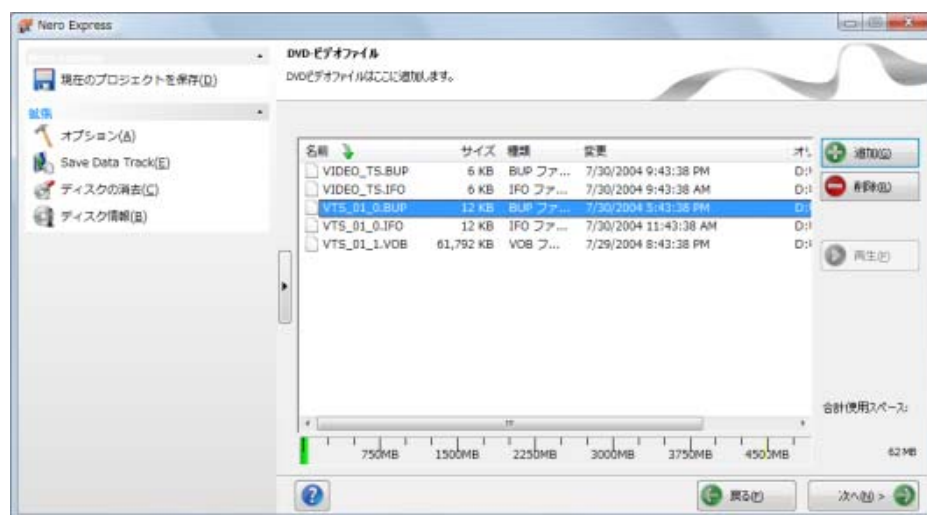
Nero Express を使用すると、ハードディスクドライブに保存された DVD ビデオファイルを DVD に書き込むことができます。作成した DVD は、ほとんどすべての DVD プレーヤーで再生できます。DVD ビデオタイトルが用意されていれば (つまり、完全な DVD フォルダ構造が用意されていれば)、Nero Express を使用して DVD が作成できます。



Nero Express では、ビデオファイルから DVD ビデオを作成することはできません。たとえば、Nero Vision を使用すると、ビデオファイルを DVD ビデオに変換できます。詳細については、別途用意されている Nero Vision のマニュアルを参照してください。

DVD ビデオを編集するには、次の手順を実行します。

1. Nero Express の開始画面で、[**ビデオ/画像**] メニューアイコンをクリックします。
→ ビデオオプションが表示されます。
2. [**DVD ビデオファイル**] オプションをクリックします。
→ [**DVD-ビデオファイル**] 編集画面が表示されます。



[DVD-ビデオファイル] 編集画面

3. [**追加**] ボタンをクリックします。
→ [**ファイルとフォルダの追加**] ウィンドウが開きます。

4. 編集に追加する DVD-ビデオファイルを選択し、[追加] ボタンをクリックします。
5. 上記の 2 つの手順を繰り返して、編集に追加する DVD-ビデオファイルをすべて追加します。
6. [閉じる] ボタンをクリックします。

➔ 編集する DVD ビデオファイルが追加され、編集画面に表示されます。



選択した DVD ビデオファイルが 4483 MB より大きく、2 層 DVD (DVD DL) の書き込みができる DVD レコーダーを装備している場合には、ドロップダウンメニューから [DVD 9 (8152 MB)] を選択できます。

7. [次へ] ボタンをクリックします。

➔ 以上で、DVD ビデオの編集は完了です。この時点で、ここまでの編集内容を書き込むことができます。

以下も合わせてご覧下さい:

📖 [編集内容を書き込む](#) → 26

8 ディスクイメージまたは保存したプロジェクトを読み込む

Nero Express を使用して、すでにハードディスクドライブに保存されているディスクイメージや編集を使用して、CD や DVD を書き込むことができます。

イメージファイルや既存の編集をロードして書き込むには、次の手順を実行します。

1. Nero Express の開始画面にある [イメージ、プロジェクト、コピー] メニューアイコンをクリックします。
→ コピーとディスクイメージのオプションが表示されます。
2. [ディスクイメージ又は既存のプロジェクト] オプションをクリックします。
→ [ファイルを開く] ダイアログウィンドウが表示されます。
3. 目的のイメージファイル (*.nrg) または保存済みの編集を選択して、[開く] ボタンをクリックします。
→ 選択したファイルがロードされ、[最終書き込み設定] 画面が表示されます。
→ 以上で、イメージファイルや編集のロードは完了です。この時点で、書き込みが可能になります。

以下も合わせてご覧下さい:

📖 [編集内容を書き込む](#) → 26

9 編集内容を書き込む

9.1 バーナーの選択

複数のレコーダーを装備している場合は、[**レコーダー**] 内のドロップダウンリストから、書き込みに使用するドライブを選択できます。

プロジェクトの書き込み直前にも、[**最終書き込み設定**] ウィンドウで、選択済みのドライブを再度変更することができます。



SecurDisc レコーダー

SecurDisc レコーダーを装備したコンピュータで、そのドライブを選択すると、Nero Express を使用して SecurDisc データ CD または DVD を作成および書き込みができます。この機能に対応するオプション [**SecurDisc データ CD**] は開始画面のウィンドウから選択できます。

コンピュータに装備されたレコーダーとは別に、Nero Express では Nero Image Recorder も使用できます。Nero Image Recorder を使用すると、イメージファイルを作成および保存して、後でそのファイルを書き込むことができます。Nero Image Recorder を使用するには、開始画面の拡張エリアで [**Nero Image Recorder を使用**] チェックボックスをオンにします。



Nero Image Recorder は、開始画面の拡張エリアでしか有効化できませんので注意してください。

9.2 書き込み処理の開始方法

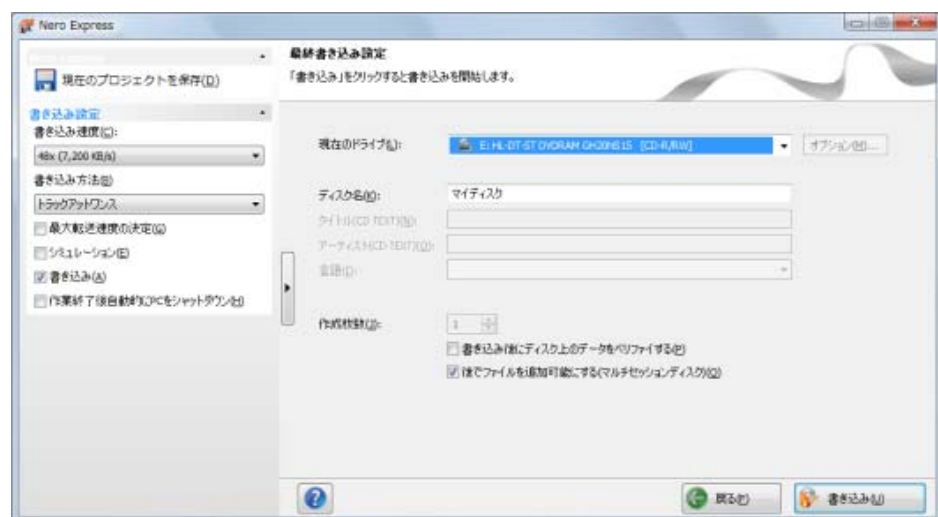
使用するレコーダを選択したり、プロジェクトの書き込み設定を必要に応じて指定したり、書き込み処理を開始するには、次の手順を実行します。

1. 選択したプロジェクトを編集します。
→ [**最終書き込み設定**] 画面が開きます。
2. 適切な空のディスクを、選択したドライブに挿入します。

3. [**ドライブ**] ドロップダウンメニューから、必要なレコーダーを選択します。
4. 必要に応じて、入力フィールドに適切な値を追加して、チェックボックスをオンにします。
5. 拡張エリアで必要な設定を追加します。
6. [**書き込み**] ボタンをクリックします。
 - ➔ [**書き込みプロセス**] 画面が表示され、書き込み処理が始まります。[**進行状況**] バーで、処理の進行状況を確認できます。書き込み処理が終了すると同時に [**Nero Express**] ダイアログボックスが開き、書き込み処理の結果についてのメッセージが表示されます。
7. [**OK**] ボタンをクリックします。
8. 書き込み処理のログを印刷または保存する場合は、[**印刷**] または [**保存**] ボタンをクリックします。
9. [**次へ**] ボタンをクリックします。
 - ➔ 以上で、プロジェクトの書き込みは完了です。この後は、[**最終書き込み設定**] 画面から別のオプションを選択して作業を継続することも、Nero Express を終了することもできます。

9.3 [最終書き込み設定] 画面

[**最終書き込み設定**] 画面では、書き込み設定を必要に応じて指定したり、Nero イメージレコーダを使用して、プロジェクトをイメージファイルの形でハードディスクドライブに保存したり、書き込み処理を開始したりできます。




[最終書き込み設定] 画面

[最終書き込み設定] 画面では、次の設定オプションが使用できます。

ボタン オプション	<p>[ドライブ情報] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、選択したドライブと、そのドライブを使用して書き込むことができるメディアのタイプについての追加情報が表示されます。追加オプションを有効または無効にすることもできます。ドライブの中には、<u>Book Type</u> の設定を変更できるものもあります。</p> <p>このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。</p>
入力フィールド ディスク名	CD や DVD の名前を指定します。
入力フィールド タイトル (CD TEXT)	CD テキストをサポートしている場合は、オーディオ CD のタイトルを指定できます。
入力フィールド アーティスト (CD TEXT)	オーディオ CD のアーティストを指定します。
入力フィールド 作成枚数	<p>作成枚数を指定します。</p> <p>このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。</p>
チェックボックス 書き込み後ディスク上のデータをベリファイ	<p>書き込んだデータと元データを比較します。<u>マルチセッション</u>の CD や DVD の編集では、最後の書き込み処理時に追加されたデータのみが比較されます。</p> <p>このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。</p>
チェックボックス 後でファイルを追加可能にする (マルチセッションディスク)	<p>このオプションをオンにすると、ファイルを追加して CD や DVD に書き込むことができます。CD や DVD はファイナライズされません。マルチセッションの CD や DVD は、必要なデータを 1 回の書き込み処理ですべて書き込む必要はありません。プロジェクトを完全に書き込むまで、繰り返し CD や DVD に書き込むことができます。</p> <p>このオプションは、オーディオ CD では使用できません。また、Nero イメージレコーダで保存する場合も使用できません。</p>

9.3.1 拡張エリア (書き込み設定)

ウィンドウ枠の左側にある  ボタンをクリックすると、[最終書き込み設定] 画面の拡張エリアに、追加の [書き込み設定] が表示されます。



拡張エリア、および追加のオプションと拡張機能は、どの Nero Express 画面でも使用できます。

次の設定オプションが使用できます。

ボタン 現在のプロジェクトを保存	[名前を付けて保存] ダイアログボックスを開きます。 このダイアログボックスでは、編集内容を保存できます。
選択リスト 書き込み速度	ディスクの書き込み速度を設定します。選択したレコーダーでサポートされている書き込み速度のみが表示されます。 このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。
選択リスト 書き込み方法	書き込み方法を [ディスクアットワンス] または [トラックアットワンス] から選択します。 <u>ディスクアットワンス</u> 方法を使用すると、書き込みレーザーを停止せずに CD や DVD 全体を書き込みます。 <u>トラックアットワンス</u> 方法で書き込むと、各トラックの後にレーザーが停止します。 このオプションを使用できるのは、CD の編集のみです。初期設定では、DVD はディスクアットワンスで書き込みます。
チェックボックス 最大速度を決定	編集されたデータにアクセスできる速度をチェックし、選択された書き込み速度を必要に応じて減速します。これにより、 <u>バッファアンダーラン</u> を防止できます。 バッファアンダーランを防止する機能を備えているレコーダーでは、速度のテストは必要ありません。 このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。

チェックボックス シミュレーション	書き込み処理のすべての手順を、レーザー光をオフにして実行します。たとえば、MP3 ファイルからオーディオ CD を作成しようとする場合など、書き込みの前にデータの圧縮を解除する場合には、シミュレーションを実行するようおすすめします。シミュレーションが成功すれば、書き込み処理も成功すると見込めます。 このオプションは、Nero イメージレコーダで保存する場合は、使用できません。
チェックボックス 書き込み	物理的な書き込みを実際に開始します (たとえばシミュレーションの後)。 初期設定ではこのチェックボックスがオンになっています。
チェックボックス *.cda トラックの終端の無音部分を削除	オーディオファイルの終端から、無音部分をカットします。初期設定ではこのチェックボックスが選択されています。オーディオデータはブロック内に格納されますが、これは、必ずブロック範囲の終端でデータが終わらない場合でも同じです。最後のブロックは、必要に応じて無音になります。 このオプションを使用できるのは、オーディオ CD のみです。
チェックボックス 作業終了後自動的にコンピュータの電源を切る	書き込み処理が終了すると、コンピュータの電源が自動的に切れます。

9.4 イメージファイルの作成

Nero イメージレコーダを使用して、書き込み設定を必要に応じて指定したり、プロジェクトをイメージファイルとしてハードディスクドライブに保存するには、次の手順を実行します。

1. 選択したプロジェクトを編集します。
→ [最終書き込み設定] 画面が表示されます。
2. [現在のドライブ] ドロップダウンメニューから、[イメージレコーダ] オプションを選択します。
3. 入力フィールドに、必要な値を追加します。
4. 必要に応じて、拡張エリアで設定を追加します。

5. [書き込み] ボタンをクリックします。

→ [書き込みプロセス] 画面が表示され、[イメージファイルの保存] ダイアログボックスが表示されます。

6. [ファイル名] 入力フィールドに、イメージファイルに付ける名前を入力します。

7. ナビゲーションツリーで保存場所を選択し、[保存] ボタンをクリックします。

→ 書き込みまたは保存処理が開始されます。[進行状況] バーで、処理の進行状況を確認できます。書き込み処理や保存が終了すると同時に [Nero Express] ウィンドウが開き、書き込み処理の結果についてのメッセージが表示されます。



[書き込み進行状況] ウィンドウ

8. [OK] ボタンをクリックします。

9. 書き込み処理のログを印刷または保存する場合は、[印刷] または [保存] ボタンをクリックします。

10. [次へ] ボタンをクリックします。

→ 以上で、Nero イメージレコーダを使用したプロジェクトの保存は完了です。

この後は、[最終書き込み設定] 画面から別のオプションを選択してプロジェクトを継続することも、Nero Express を終了し、後で継続することもできます。

以下も合わせてご覧下さい:

📖 最終画面 → 41

10 CD/DVD をコピーする

10.1 コピー方法

Nero Express は、ディスクのコピーに使用できます。ディスクのコピーには、二通りの方式があります。

- オンザフライ
- イメージ経由コピー

どちらの方法にも長所と短所がありますが、目的によっては短所が長所になることもあります。

10.1.1 オンザフライコピー

オンザフライ方式を使用するには、コピー元のディスクをドライブに挿入して、記録可能なディスクをドライブに挿入します。

ドライブ内のコピー元ディスクは、直ちにレコーダー内の空ディスクにコピーされます。オンザフライ方式を使用すると、余分なディスク領域を必要とせずに非常に素早くディスクのコピーが実行できます。

オンザフライ方式を使用するには、読み込み用ドライブと、書き込み用ディスクバーナーの2台のドライブが最低でも必要になります。

読み込みドライブとディスクバーナーには、次に示す要件が適用されます。

- ディスクバーナーがバッファアンダーラン保護を備えるか、ドライブがデータを十分な速さで送信できる必要があります。少なくとも書き込み速度の2倍が読み取り速度が必要です。
- 読み込みドライブには、セッションの数とセッションの種類についての情報を提供する機能が必要です。この情報がないと、Nero Express では完全なコピーを作成できないことがあります。

オーディオ CD をコピーする場合は、読み込まれるオーディオファイルの品質がドライブによって低下する可能性があるため、イメージ経由コピー方式をおすすめします

10.1.2 イメージ経由コピー

イメージ経由コピー方式では、コピー元ディスクのイメージが、最初にファイルに保存されます。そのイメージファイルが、空のディスクに書き込まれます。イメージ経由コピー方式でコピーすると、時間がかかる代わりに、良好な結果を得られることが多くあります。

イメージ経由コピー方式を使用するには、十分な記憶領域が必要になります。

イメージ経由コピーは、次のような状況で特に効果を発揮します。

- 利用できるドライブが 1 台に限られている場合。
- 同一ディスクのコピーを複数枚作成する場合。
- コピー元の CD が (傷などで) 読み込みエラーを発生させる可能性がある場合。
- コピーの再現性 (特に、オーディオ CD のインデックスポジションや音声品質など) を重視する場合。

10.2 CD/DVD をコピーする

ディスクをコピーするには、次の手順を実行します。



自分が著作権者でない CD や DVD を、著作権者の承認を受けずに無許可でコピーすると、国内外の法律により処罰されます。



コピー保護されたオーディオ CD を、Nero Express でコピーすることはできません。



コピー保護されている CD や DVD はコピーできません。CD や DVD がコピー可能なものかどうか判断できない場合は、実際の物理的な書き込みを開始する前に、シミュレーションを実行してください。

1. Nero Express の開始画面にある [イメージ、プロジェクト、コピー] メニューアイコンを、クリックします。
→ 対応するコピーのオプションが表示されます。
2. [CD 全体のコピー]、[DVD 全体のコピー]、または [Blu-ray ディスク全体のコピー] オプションから、必要なオプションをクリックします。
→ [元のファイルと書き込み先を指定します] 画面が表示されます。

3. この画面で、また必要に応じてウィンドウの拡張エリアで、必要な設定を行います。
4. [**イメージコピー**] 方法を使用してディスクをコピーするには、次の手順を実行します。
 1. [**クイックコピー**] チェックボックスをクリアします。
 2. コピー元のディスクをレコーダーに挿入します。
5. [**オンザフライ**] 方式でディスクをコピーするには、次の手順を実行します。
 1. [**クイックコピー**] チェックボックスを選択します。
 2. [**読み込み元ドライブ**] と [**書き込み先ドライブ**] を選択します。
 3. コピー元のディスクを、選択したドライブに挿入します。
 4. 書き込み先ドライブに空のディスクを挿入します。
6. [**コピー**] ボタンをクリックします。
 - ➔ コピーにドライブを使用している場合には、コピー処理が始まります。コピーに Nero Image Recoder を使用している場合には、[**イメージファイルの保存**] ウィンドウが表示されます。
7. [**ファイル名**] 入力フィールドに、イメージファイルに付ける名前を入力します。
8. [**保存する場所**] ドロップダウンリストで目的の記憶装置の場所までツリーを移動して、[**保存**] ボタンをクリックします。
 - ➔ コピー処理または保存処理が開始されます。[**進行状況**] バーで、処理の進行状況を確認できます。
1 台のドライブでコピーを実行すると、イメージファイルの作成後、コピー元の CD や DVD を取り出して、適切な空のディスクを挿入するように促すメッセージが表示されます。その後、書き込み処理が自動的に始まります。
9. [**次へ**] ボタンをクリックします。
 - ➔ 以上で、CD や DVD のコピーは完了です。この時点で表示される最終画面から、オプションを選択するか、Nero Express を終了します。

以下も合わせてご覧下さい:

📖 最終画面 → 41

10.3 コピー設定



[CD/DVD 全体のコピー] 画面

[元のファイルと書き込み先を指定します] 画面では、次の設定オプションが使用できます。

選択リスト 読み込み元ドライブ	コピー元の情報を読み取るドライブを指定します。 コピーする CD や DVD をこのドライブに挿入します。
選択リスト 書き込み先ドライブ	コピー先のドライブを指定します。 このドライブに空のディスクを挿入します。
ボタン 情報	[ドライブ情報] ダイアログボックスが表示されます。 このダイアログボックスには、書き込み先に選択したドライブについての情報が表示されます。
チェックボックス クイックコピー	読み込み元ドライブから、書き込み先ドライブに直接コピーできるようにします。クイックコピーの実行時には、データはハードディスクドライブにバッファされません。 <u>オンザフライオプション</u> は、最低 2 台のドライブが接続されていないと使用できません (Nero イメージレコーダには適用されません)。このチェックボックスが選択されていない場合は、イメージファイルが作成されてから、書き込みが開始されます。

選択リスト 書き込み速度	CD の書き込み速度を設定します。選択したレコーダーでサポートされている書き込み速度のみが表示されます。 このオプションは、Nero Image Recoder では使用できません。
入力フィールド 作成枚数	作成枚数を指定します。
チェックボックス 書き込み後ディスク上のデータをバリエーション	書き込んだデータが、元のデータと同一かどうかを検査します。 このオプションは、Nero Image Recoder では使用できません。
ボタン イメージファイル	イメージファイルが保存されるフォルダを指定します。イメージファイルの名前や、保存先フォルダを変更できます。 このオプションは、Nero Image Recoder では使用できません。

拡張エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

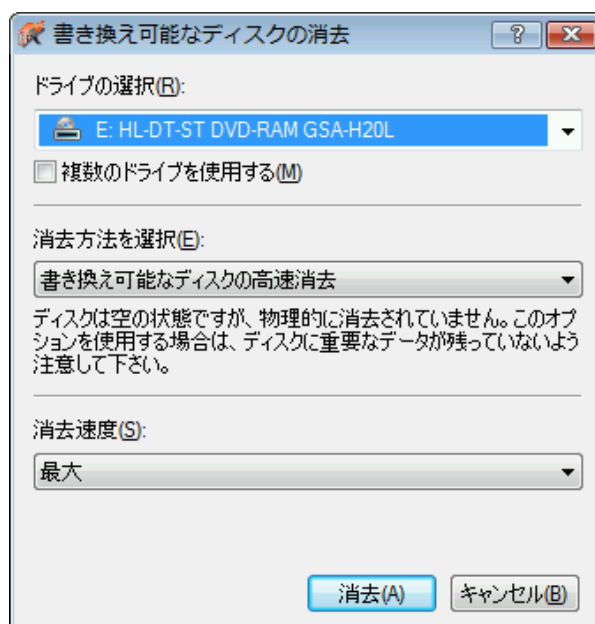
チェックボックス すべてのサブチャンネルデータを読む	コピー時に、すべてのサブチャンネルデータを読み込みます。 サブチャンネルデータは、CD TEXT などの追加情報を保存するために使用されています。
チェックボックス 最大速度を決定	最大書き込み速度を検出します。 このオプションは、Nero Image Recoder では使用できません。
チェックボックス シミュレーション	書き込み処理のすべての手順を、レーザー光をオフにして実行します。シミュレーションが成功すれば、書き込み処理も成功すると見込めます。 このオプションは、Nero Image Recoder では使用できません。
チェックボックス 書き込み	物理的な書き込みを実際に開始します (たとえばシミュレーションの後)。 初期設定ではこのチェックボックスがオンになっています。

11 [書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウ

Nero Express を使用すると、書き換え可能なディスク (RW ディスク) を消去できます (ただし、バーナーがこの機能に対応している場合に限りです)。ディスクの消去には、次の 2 通りの方式があります。

高速消去では、データは物理的にはディスクから削除されず、既存の内容への参照が消去されてアクセスできなくするだけです。データは復元することができます。

完全消去では、ディスクをゼロで上書きすることでディスクからデータが削除されます。ディスクの内容が通常の方法で復元できなくなります。繰り返し完全に消去することで、第三者がディスクの内容を再構築しにくくなります。



[書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウ

[書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウでは、次の設定オプションが使用できます。

選択リスト ドライブの選択	任意のレコーダーを指定します。
チェックボックス 複数のドライブを使用 する	複数のドライブに入っている CD や DVD を同時に消去します。

[書き換え可能なディスクの消去] ウィンドウ

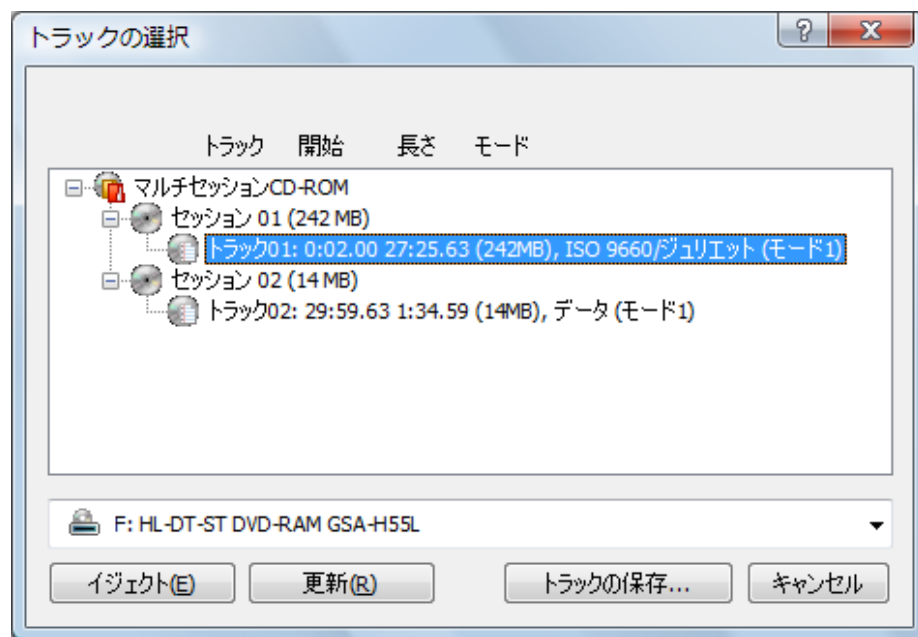
<p>選択リスト 消去方法を選択</p>	<p>消去方法を指定します。次に示す 2 つのオプションを選択できます。</p> <p>[書き換え可能なディスクの高速消去] では、ディスク内容の物理的な完全消去はせずに、ディスク内容への参照のみを消去します。ディスクは、物理的にはデータがそのまま残されますが、空のディスクと認識されます。この方法では、1 ～ 2 分間でディスクを消去できます。</p> <p>[書き換え可能なディスクの完全消去] 方式では、ディスクから物理的にすべてのデータを消去します。ディスクの内容が通常の方法で復元できなくなります。繰り返し完全に消去することで、第三者がディスクの内容を再構築しにくくなります。この方法は、もう一方の方法に比べるとディスクの消去に時間がかかります (消去時間はディスクの種類によって異なります)。</p>
<p>選択リスト 消去速度</p>	<p>消去速度を設定します。</p>
<p>ボタン 消去</p>	<p>消去処理を開始します。</p>
<p>ボタン キャンセル</p>	<p>操作を取り消して、ウィンドウを閉じます。</p>

12 データトラックを保存する

Nero Express では、データディスクをイメージファイルとして保存できます。このイメージファイルは後で記録可能なディスクに書き込むことができます。その結果、元のデータディスクをコピーできます。

イメージファイルとしてデータディスクを保存するには、次の手順を実行します。

1. ドライブにデータディスクを挿入します。
2. 開始画面の拡張エリアにある、[**データトラックを保存**] ボタンをクリックします。
→ [**トラックの選択**] ウィンドウが開きます。このトラックリストにはディスクで見つかったセッションとデータトラックが表示されます。技術的な理由により、最初のセッションの最初のデータトラックのみ保存できます。




トラックの選択

3. 最初のデータトラックを選択します。
4. [**トラックの保存**] ボタンをクリックします。
→ [**名前を付けて保存**] ウィンドウが開きます。
5. ファイル名と保存する場所を選択します。

6. [別名で保存] ドロップダウンメニューで、イメージファイルを出力するフォーマット (ISO または NRG) を選択します。
7. [開始] ボタンをクリックします。
 - ➔ [進行状況] ウィンドウが開き、変換保存処理の進行状況が示されます。保存が完了すると、このウィンドウは自動的に閉じられます。
 - ➔ 以上で、データディスクからのイメージファイルの作成は完了です。この時点で、イメージファイルをディスクに書き込むことができます。

13 最終画面

Nero Express を使用した書き込み処理や保存処理が完了すると、最終画面が表示されます。この画面には、[同じプロジェクトをもう一度書き込む]、[新規プロジェクト]、および [プロジェクトの保存] のオプションがあります。これらのオプションの 1 つを選択して Nero Express での作業を継続することができます。また、 ボタンをクリックして、プログラムを終了することもできます。

次の設定オプションが使用できます。

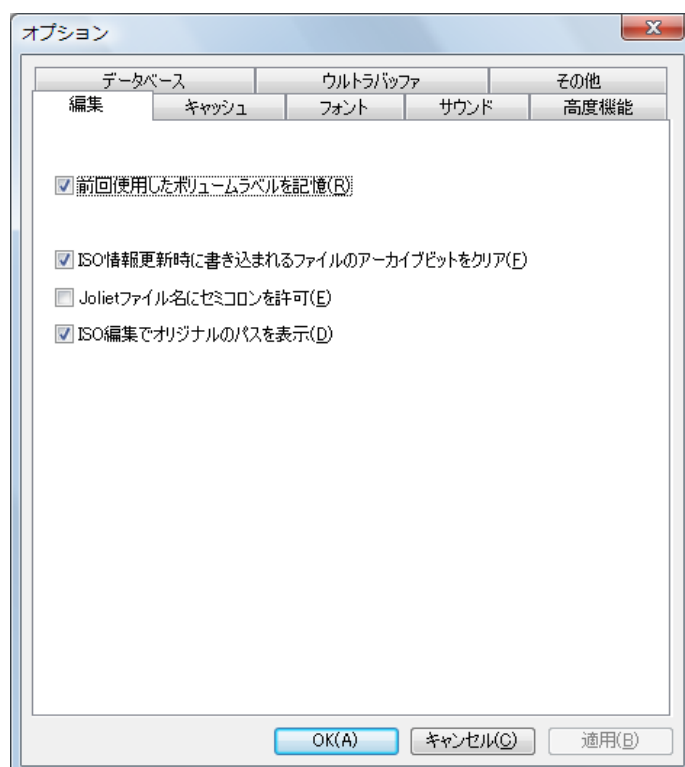
項目 同じプロジェクトを もう一度書き込む	[最終書き込み設定] 画面に戻ります。 同じプロジェクトを、同じ設定または異なる設定で、もう一度書き込むことができます。
項目 新規プロジェクト	Nero Express の開始画面を開きます。 この画面で、新しいプロジェクトを作成できます。
項目 プロジェクトの保存	[別名で保存] ウィンドウを開きます。 現在のプロジェクトに後で再度アクセスしたい場合は、このプロジェクトを保存できます。

以下も合わせてご覧下さい:

 [ディスクイメージまたは保存したプロジェクトを読み込む](#) → 25

14 設定オプション

[オプション] ウィンドウでは、Nero Express を使用して作業するためのオプションを設定できます。



[オプション] ウィンドウ

次のタブが使用できます。

編集	編集画面と選択画面のオプションが表示されます。
キャッシュ	キャッシュのオプションが表示されます。
フォント	フォントの選択オプションが表示されます。
サウンド	書き込み作業に関連付けるサウンドの選択オプションが表示されます。
高度機能	オーバーバーンおよび書き込みを設定するためのオプションが表示されます。 初期設定を変更しないようおすすめします。

ウルトラバッファ	RAM バッファのサイズを指定します。
その他	編集の作成、書き込み、データベース、ユーザーインターフェース、および拡張設定用のオプションが表示されます。

14.1 編集設定

[編集] タブでは、次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス 前回使用したボリュームラベル を記憶する	次回のディスクに同じタイトルが利用できるようにします。
チェックボックス ISO 情報更新時に書き込まれる ファイルのアーカイブビット をクリア	保存するファイルの <u>アーカイブビット</u> を削除します。
チェックボックス Joliet ファイル名にセミコロ ンを許可	<u>Joliet</u> ファイルシステムのファイル名に、セミコロンと、標準的な大文字小文字、Unicode 文字 (および、ドイツ語の母音文字) が使用できるようにします。
チェックボックス [ISO 編集でオリジナルの パスを表示]	編集画面の [オリジナル] 列に、追加したファイルのフルパスを一覧表示します。

14.2 キャッシュの設定

[キャッシュ] タブでは、次の設定オプションが使用できます。

入力フィールド キャッシュ用パス	キャッシュメモリのパスを表示します。 手動でパスを入力することも、参照ウィンドウでパスを選択することもできます。
ボタン 参照	参照ウィンドウを開きます。 書き込み処理の前および処理中に、データがバッファされるフォルダを選択できます。
入力フィールド Nero が使用しないよう確保するハードディスク容量	Nero Express によって使用しない記憶域容量を指定します。
チェックボックス CD-ROM からドラッグ アンドドロップ	CD-ROM ドライブからコピーされたファイルをクリップボードに保存します。

14.3 高度機能

[高度な設定] タブでは、次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス [ディスクアットワンス CD オーバーバーン有効]	追加のオプションを有効化したり、書き込み処理全体の設定を指定したりできます。
オプションボタン [オーバーバーンサイズの相対 的最大/最小値]	ディスクでオーバーバーンできる量を指定します。

<p>チェックボックス [DVD オーバーバーン有効]</p>	<p>DVD をオーバーバーンできるオプションを有効にします。</p>
<p>チェックボックス [ショートリードアウトの生成を有効にする]</p>	<p>このオプションをオンにすると、データを追加して CD に書き込むことができます。</p> <p>この機能は、[ディスクアットワンス CD オーバーバーン有効] オプションが有効化されている場合のみ使用できます。</p>
<p>チェックボックス [書き込み完了後にディスクをイジェクトしない]</p>	<p>書き込み処理の終了時にディスクをレコーダー内に残してイジェクトしないオプションを有効にします。</p>
<p>チェックボックス [イメージレコーダで対応するすべての形式を有効にする]</p>	<p>Image Recoder で対応しているすべてのレコーダー形式 を使用可能にするオプションを有効にします。</p>

15 技術的な情報

15.1 システム要件

Nero Express は、Nero BackItUp & Burn と一緒にインストールされます。システム要件も同じです。システム要件についての詳細は、www.nero.com でご確認ください。

15.2 対応形式

15.2.1 ディスク種別

- CD
- DVD
- Blu-ray - 書き込みのみ



実際に使用できる項目および実際に書き込めるディスクタイプ (DVD など) は、使用しているレコーダーによって異なります

15.2.2 ディスク形式

- オーディオ CD
- DVD ビデオ

16 用語集

CD-R

CD-R (Compact Disc-Recordable) は、追記型メディアの技術です。オーディオデータやその他のコンピュータで読み取り可能なデータの保存に関しては、オレンジブックの標準によって定義されています。

Joliet

Joliet とは、ファイル名に関する ISO-9660 標準の拡張形式です。Joliet は、長いファイル名に対応できるよう Microsoft 社により設計されました。64 文字までのファイル名を使用することができ、A ~ Z、a ~ z、ウムラウト記号、および ß が含まれています。

MP3

MPEG -1 Audio Layer 3 オーディオフォーマットは、オーディオファイルのサイズを、音声品質を損なうことなく、元のファイルサイズの 10 分の 1 程度に圧縮するために使用します。1 分間のデータが、元のファイルの 10 MB ではなく、約 1 MB になると推定できます。サイズと音質は、オーディオ信号の複雑さによって大きく異なる場合があります。使用されるビットレートは品質の基準と見なすことができます。ビットレートが高いほど、品質が上がりますが、必要なメモリも多くなります。

MPEG-4

これは、Moving Picture Experts Group がビデオとオーディオのコーデックに対して定義した業界標準です。MPEG-4 は、ビデオとオーディオに使用する最新の MPEG 標準です。MPEG-4 では、MPEG-1 や MPEG-2 などの標準で定義されている複数の機能が組み合わされています。Nero Digital™ Video と Nero Digital™ Audio は、この標準に基づいています。

SecurDisc

SecurDisc とは、認証されていないアクセスと複製からデータキャリアを保護するセキュリティテクノロジーです。SecurDisc は、書き込むことのみ可能で、パスワードは、SecurDisc ドライブで保護されます。

他のドライブでのアクセスは、一定範囲のみ可能です。コピー保護機能はありませんが、DVD+R(W)、DVD+R DL、DVD-RAM、および CD-R(W) ディスク形式がサポートされています。

SVCD

スーパービデオ CD (略して SVCD) は、MPEG-2 ビデオコードを使用して保存を行うムービーファイル用の CD 形式です。そのため、このディスク形式を使用すると、ビデオファイルを S-VHS ビデオに近い品質で保存することができ、また 650 または 700 MB の CD に、ステレオサウンドを含む 30 または 40 分までのビデオを保存することができます。SVCD を再生できる DVD プレイヤーと PC は増え続けています (PC の場合は、適切なソフトウェアと CD-R/RW ディスクの読み込みが可能なドライブが必要です)。

アーカイブビット

アーカイブビットは、ファイルが編集されたかどうかを特定するために使用されます。ファイルが編集されていた場合には、次のバックアッププロセス時に再保存のみが実行されます (その結果、アーカイブビットはリセットされます)。

イメージ

イメージとは、ハードディスクドライブに保存された 1 つのファイルで、ディスク全体のイメージが含まれたものです。書き込み処理中に問題が発生した場合や、PC にレコーダーが接続されていない場合でも、ディスクイメージを使用すれば後でメディア上に正確に同じコピーを作成することができます。イメージには、ハードディスク上に元のディスクの内容と同じ空き領域が必要です。

オーディオ CD

オーディオ CD には、オーディオシーケンスと個々のトラックをハイファイ品質で 74 分まで保存できます。保存容量は 16 ビットの深さのサンプルで 747 MB、スキャンレートは 44.1 kHz です。

オンザフライ

オンザフライは、ディスクのコピーを行う方法です。データは元の保存場所から書き込みを行うディスクへ直接転送されます。そのため、Nero では転送するデータを参照するだけの小さなファイルを編集して使用します。

キャッシュ

キャッシュとは、大きなデータボリュームに高速にアクセスするために、コンピュータのさまざまな領域で使用されている高速バッファです。キャッシュを使用すると、連続的なデータの流れが確保されます。

ディスクアットワンス

ディスクアットワンスとは、ドライブのレーザーを、各トラック間でオン/オフせずに、1回のセッションですべて書き込む方法です。この方法は、家庭用や車載用のステレオで再生するオーディオ CD の書き込みに最適です。

トラックアットワンス

トラックアットワンスとは、各トラックを個別にディスクに書き込む方法です。トラックを書き込むごとに、書き込み処理をいったん中断します（レーザーはトラックごとに再び開始されます）。この書き込み方法を使用すると、DVD に部分的に書き込み、後から書き込みを続行することができます。トラック間には最低でも 27ms の無音部分ができるため、オーディオ CD には向かない場合があります。

バッファアンダーラン

バッファアンダーランとは、内部メモリ（レコーダーなど）のデータフローが中断されることです。バッファアンダーランは、内部バッファへのデータフローが中断されることにより発生します。バッファは、最終的に空になるまでデータを提供し続けます。書き込みを行う場合、データの流れを一定に保つために、レコーダーのバッファに連続してデータが送られます。この一定のデータの流れが中断されると、メディアが使用できなくなります。ほとんどの新型レコーダーには、バッファアンダーラン防止機能が搭載されています。

ビデオ CD

ビデオコンパクトディスクでは、ムービーおよびオーディオやビデオのデータを MPEG-1 形式で保存します。これにより、VCD のビデオ品質は VHS ビデオと同程度になります。VCD を使用すると、650 MB のディスクに、ステレオサウンドを含む 74 分までのビデオデータを保存することができます。VCD は、ほとんどの光学 PC ドライブと DVD プレイヤーで再生できます。

ブックタイプ

ブックタイプとは、DVD の規格（DVD-、DVD+、DVD-ROM など）を特定するものです。正確に再生されるように、DVD の規格はブックに定義されているため、すべてのメディアを正確に読み取ることができます。これらの規格は、いわゆるレインボーブックで定義されています（各規格は、イエローブックなど、それぞれの表紙の色によって区別されています）。

フレーム

音楽 CD では、再生される音楽 1 秒あたり 75 セクタを使用します。セクタは 1 セクタあたり 98 フレーム、フレームは 1 フレームあたり 24 データバイトと 9 コントロールバイトで構成されています。同じように、テレビとビデオでは、技術的に「フレーム」が 1 つのフルスクリーンを示します。連続した 2 つのハーフィメージが、インターレースによって 1 秒間に 1 つのフルスクリーンを形成します。

ブロック

ブロックとは、1 回のアクセスでアドレス可能な、CD-ROM またはハードドライブ上の情報の最小単位（ビットまたはバイトで表示）です。複数のブロックが結合されるとセクターになります。

マルチセッション

マルチセッションとは、複数のサイクルでディスクを完成することです。最初のセッションがディスクに書き込まれた後、ディスクはまだファイナライズされていないので、情報を別のレコードに追加することができます。

17 索引

1

1 つ前のトラックとクロスフェードする	21
---------------------------	----

I

ISR	21
-----------	----

N

Nero イメージレコーダ

Nero イメージレコーダ	33
イメージファイル	33
イメージファイルをロードする	27
書き込み	29, 33
書き込み設定	29

I

イメージファイル	27
データディスクから作成	45
イメージ経由コピー	37

O

オーディオ CD

コピーする	36
作成する	18

オーディオファイル

平均化する	23
-------------	----

オプション

設定	47
設定する	47

オンザフライ 36 |

オンザフライコピー 36 |

コ

コピー	37
-----------	----

シ

システム要件	51
--------------	----

デ

データ

CD または DVD を作成する	12
------------------------	----

データディスク

コピー	44
データトラック	44

デクリック 23 |

ド

ドライブ

Nero Image Recorder	28
Nero Image Recorder を有効にする	28
選択する	28

ビ

ビデオ

DVD ビデオファイル	25
-------------------	----

フ

ファイル

追加	18
----------	----

マ

マニュアル、表記ルール	5
-------------------	---

ミ

ミュージック

インデックス	21
トラックプロパティ	19
フィルタ	23

レ

レコーダー

書き込み 28

保

保存 46

書

書き換え可能なディスク

消去 42

消去方法 43

書き込み

Nero イメージレコーダ 29

オプション 31

レコーダー 28

終

終了 46

表

表記ルール、マニュアル 5

18 お問い合わせ

Nero Express は、Nero AG の製品です。

Nero AG

Im Stoeckmaedle 13-15

76307 Karlsbad

ドイツ

Web : www.nero.com

サポート : <http://support.nero.com>

Fax : +49 724 892 8499

Nero Inc.

330 N Brand Blvd Suite 800

Glendale, CA 91203-2335

アメリカ

Web : www.nero.com

サポート : <http://support.nero.com>

Fax : (818) 956 7094

E メール: US-CustomerSupport@nero.com

株式会社 Nero

1-2-2 ローバーセンター北 8F-B

都筑区中川中央

神奈川県横浜市

日本 224-0003

Web : www.nero.com

サポート : <http://support.nero.com>

Copyright(C) 2009 Nero AG and its licensors. 無断転載を禁止します。